

第2学年 理科 シラバス

1 教科の目標

<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。</p> <p>①物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量について理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。</p> <p>②生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きについて理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>③気象観測、天気の変化、日本の気象について理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付け、規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>④電流、電流と磁界について理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。</p>

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	定期考査 小テスト 単元末テスト 授業への取り組み
II 思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。	提出物 (ノート、ワーク、ワークシートなど)
III 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。	

3 年間指導計画

学期	月	単元	
一学期	4月	単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなりたち	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第1章 生物の細胞
	5月	第2章 物質どうしの化学変化	
	6月	第3章 酸素がかかわる化学変化	
	7月	第4章 化学変化とその質量の変化	第2章 植物のからだのつくりとはたらき
二学期	9月	単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測	第3章 動物のからだのつくりとはたらき
	10月	第2章 雲のでき方と前線	
	11月	第3章 大気の動きと日本の天気	
	12月	単元4 電気の世界	
三学期	1月	第1章 静電気と電流	
	2月	第2章 電流の性質	第4章 刺激と反応
	3月	第3章 電流と磁界	

4 学習のポイント

<p>1. A. B. C の基準</p> <p>A … 提出物は、決められた期限までに提出し、内容が正しく書かれている。小テストや期末考査では、8割以上の内容を理解している。</p> <p>B … 提出物は、決められた期限までに提出し、おおむね正しい内容が書かれている。小テストや期末考査では、5割以上の内容を理解している。</p> <p>C … 提出物の取り組みが不十分である。小テストや期末考査の内容の理解が、5割に達していない。</p> <p>2. 学習を進めていく上でのポイント</p> <p>授業 … 集中して説明を聞きしっかり板書を写しましょう。積極的に授業に参加しましょう。</p> <p>提出物 … 実験レポートは、実験のようすや結果をしっかり記録しましょう。図やグラフ、表などを使って表現しましょう。実験の内容を理解し、結果から自分で考えたことを文章で説明できるようにしましょう。ノートやワークなどの提出物は、決められた期限までに、指示された内容をきちんと取り組んでから提出しましょう。</p> <p>定期考査、小テスト、単元末テスト … 試験範囲の重要語句を覚え、授業で行った実験や観察の内容をまとめましょう。ワークや授業中に解いたプリントをくり返し解いて覚えましょう。間違えた問題は必ず復習しましょう。</p>
